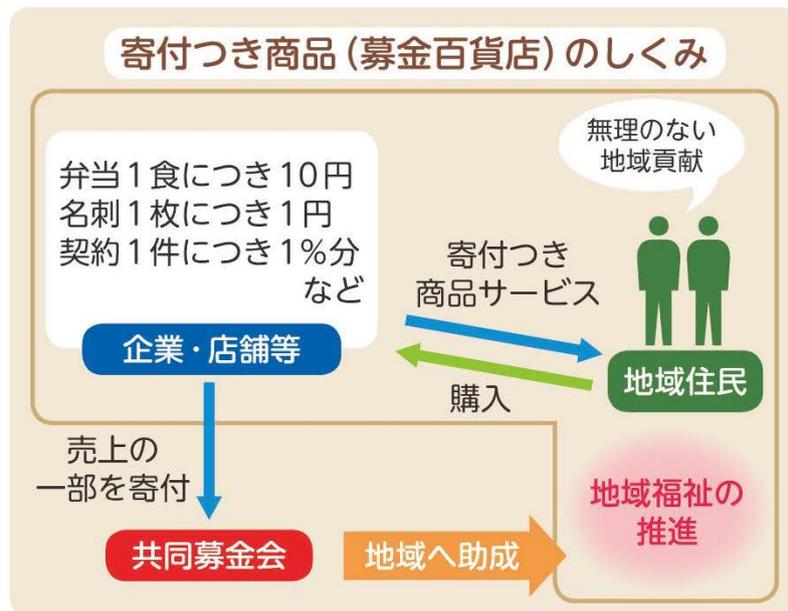


赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」の実施状況について

「募金百貨店プロジェクト」とは、企業等にとって本業にメリットのある寄付つき商品・企画を一堂に集約し、赤い羽根共同募金が募金の百貨店になろうというプロジェクトである。顧客に負担はなく、企業は販促と社会貢献に繋がり、それが地域福祉課題解決のための財源となるという、3者のWIN&WIN&WINの関係の構築を目指す新しい募金手法である。

(本業へのメリットの例：企業等のイメージアップ、売上増や販路拡大、広報力アップや知名度の向上、寄付金は全額損金算入 等)



(1) 加賀市共同募金委員会の取り組み経緯

加賀市共同募金委員会では、平成24年より役員等に、新たに地域の商工会や福祉関係者、寄付者の方々が参画し、募金額の増額に向けた協議を重ねてきた。

また、募金検討委員会も立ち上げ、新たな募金手法の検討も積極的に行っており、これらの検討の中から、加賀市内の企業と住民の方々に無理なく参加してもらえる募金手法として「寄付つき商品 (募金百貨店)」を取り入れることとした。

新たな募金手法の導入に向けて、役員・職員・関係者合同の研修会を開く等、共通理解を図りながら、一丸となって共同募金の推進に取り組んでいる。

(2) 「募金百貨店プロジェクト」覚書調印式について

加賀市共同募金委員会の呼びかけに賛同され、寄付つき商品の企画を創り、募金百貨店プロジェクトに登録された企業の方々との覚書調印式を実施した。

今回の石川県初の覚書調印式に参加されたのは加賀市内の企業4社の方々に、これら4社の企業の協力により寄せられる寄付金は、加賀市共同募金委員会に寄付され、加賀市において“未来ある子供への支援”として活用されることとなる。

開催日時 平成27年11月26日(木) 10時30分～11時
開催場所 石川県社会福祉会館 2階 第1会議室
出席者 宮本産業株式会社(漆器製造販売)
北陸印刷株式会社(印刷) ※実施概要等は別添のとおり
有限会社前山事務機(事務機販売)
MICHEAL(フラワーショップ)
石川県共同募金会、加賀市共同募金委員会



覚書調印の様子



赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」 実施企業 実施概要

No.	1	2	3	4
企業名	宮本産業株式会社	北陸印刷株式会社	有限会社前山事務機	MICHEAL (ミッシェル)
職種	漆器製造販売	印刷	事務機販売	フラワーショップ
住所	加賀市山中温泉二天町ホ40番地1	加賀市大聖寺本町25甲	加賀市山代温泉北部1丁目140番地3	加賀市片山津温泉ア70番地
代表者役職	代表取締役社長	代表取締役	代表取締役	代表
代表者名	宮本 峰幸	山口 浩市	前山 智	伊藤 みちる
プロジェクト名	私たちの子供支援、「漆」うるわしプロジェクト	加賀市の未来あるこどもの支援	21世紀を担う加賀市の子どもの支援プロジェクト	こどもたちの夢を咲かせる応援プロジェクト
寄付つき商品の内容について	<p>貧困の連鎖に伴い、食えることや勉強についていけないこどもたちの支援を目的として、募金百貨店プロジェクトに賛同したことを公表し、10月、11月、12月の売り上げの0.1%を加賀市共同募金委員会に寄付します。</p>	<p>募金百貨店プロジェクトのロゴマークが入った封筒や名刺を印刷していただくと、1枚につき1円を、加賀市共同募金委員会に寄付し、加賀市の未来あるこどもの支援に助成されます。</p>	<p>公共施設(加賀市役所・加賀市民会館)に設置しているコピー機で印刷いただくと、コピーカウンター料金(白黒10円、カラー80円)の1枚につき加賀市役所設置分5%・加賀市民会館設置分20%を、加賀市共同募金委員会に寄付します。</p>	<p>ウィークリーフラワー(週替わり推奨商品)1鉢につき5%を、加賀市共同募金委員会に寄付し、加賀市の子どもの交流活動などに助成されます。</p> <p>(まちの小さな花屋の社会貢献として、こどもたちに大きな夢を抱いてもらい、その夢を咲かす小さな力になればと、思い、募金百貨店プロジェクトに参加します。)</p>



募金百貨店プロジェクトの参加を示すロゴマーク
—加賀市役所

加賀市共同募金委員会(事務局・同市社会福祉協議会)が市内の4事業所と協力し、売り上げの一部などを赤い羽根共同募金に寄付してもらう事業「募金百貨店プロジェクト」に県内で初めて乗り出した。市内

4事業所が「募金百貨店」

加賀 売り上げの一部寄付

では戸別募金が8割を占め、実績額も減少傾向にある。法人に販促や社会貢献につながる新しい取り組みとして提案し、寄付の促進につなげる。
加賀市内で参加するのは

一部や印刷物1枚に付き1円、週替わり推奨商品の販売額の5%などを市共同募金委員会に寄付し、子どもへの支援などに充てる。
20日は宮本峰幸会長が市役所に宮元陸市長を訪ね、プロジェクトの実施を報告した。
同プロジェクトは中央共同募金会が2011年に始め、今年4月現在、24県で実施されている。

新 聞 (夕刊) (平成27年) 11月26日 (木曜日)

売り上げの一部
赤い羽根募金に
4事業所が覚書
売り上げの一部などを赤い羽根共同募金に寄付してもらう「募金百貨店プロジェクト」に、石川県内で初めて取り組む4事業所と県共同募金会の覚書調印式が26日、金沢市の県社会福祉会館で行われ、地域福祉の充実へ思いを一つに示した。

いずれも加賀市の漆器製造販売の宮本産業、北陸印刷、事務機販売の前山事務機、生花店のMICHEAL(ミッシェル)がプロジェクトに参加した。対象商品に共通のロゴマークを提示し、売り上げの一部などを同市共同募金委員会に寄付する。
調印式では4事業所の代表がそれぞれ意気込みを述べ、県共同募金会の中島秀雄会長があいさつした。



覚書に調印する事業所の代表
—金沢市の県社会福祉会館

北 國 新 聞 (平成27年) 11月27日 (金曜日)

委員会に寄せられる。ロゴ入りの名刺1枚につき1円を寄付する北陸印刷の山口浩市代表は「同業者にも紹介してプロジェクトを普及させていきたい」と話した。

「募金百貨店」で覚書 県内で初
事務機、生花店のMICHEAL(ミッシェル)が事業に参加した。対象商品に共通のロゴマークを提示し、寄付金は同市共同募金

売り上げの一部を寄付する県共同募金会の「募金百貨店プロジェクト」の調印式が26日、金沢市本多町の県社会福祉会館であり、加賀市内の4社の代表と同会の中島秀雄会長が覚書を交わした。(蓮野亜耶)



募金百貨店プロジェクトの覚書に調印した皆さん=県社会福祉会館で

同プロジェクトは二〇一二年から全国的に広まり、商品の購入やサービスの利用に応じて、企業が売り上げの一部を県共同募金会に寄付する。県では初めての実施。買

い物ついでに募金をしてもらい、善意の輪を地域でつなげたいと加賀市共同募金委員会がプロジェクトの参加を熱望していたことから、まずは加賀市内で取り組むことになった。

未来ある子に役立てて

募金百貨店プロジェクト 加賀の4社

参加するのは、漆器製造販売の宮本産業、印刷業の

北陸印刷、事務機販売の前山事務機、フラワーショップのMICHEAL。例えば、北陸印刷では、同プロジェクトのロゴマークを入れた名刺や封筒を注文すると一枚につき1円を県共同募金会に寄付。同会から加賀市の子どもの支援をする団体に託される。

調印式では、一社ごとに覚書に調印した。中島会長は「加賀市以外にも県全体で活動を広めていきたい」とあいさつ。北陸印刷の山口浩市社長は「以前から子どもの貧困問題を解決したいという思いがあった。子どもたちの未来のために活用してほしい」と述べた。

募金百貨店プロジェクトの覚書を調印した皆さん=26日午前、金沢市本多町の県社会福祉会館で



県内初、加賀の4社

商品購入やサービス利用に応じて収益の一部を寄付する石川県共同募金会の「募金百貨店プロジェクト」調印式が二十六日、金沢市本多町の県社会福祉会館であり、加賀市内の

売り上げ一部 たすけ愛♡に 募金百貨店プロジェクト調印式

四社の代表と同会の中島秀雄会長が覚書を交わした。
二〇一二年から全国的に広まり、企業が売り上げの一部を県共同募金会に寄付するプロジェクトで、石川県内では初めての取り組み。加賀市共同募金委員会がプロジェクトの参加を熱望していたことから、まず加賀市内で始める。参加するのは、漆器製造販売の宮本産業、印刷業の北陸印刷、事務機販売の前山事務機、フラワーショップのMICHEAL。
宮本産業の場合、売り上げの0.1%を県共同募金会に寄付する。同会からは、貧困で苦しむ子どもたちのために活動する団体に託される。
調印式で中島会長は「皆さんの心意気に感謝したい」とあいさつした。宮本産業の宮本峰幸社長は「未来ある子どもたちのために役立ててほしい」と述べた。(蓮野亜耶)